

特別支援学校高等部理療科採点基準

2枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)		採 点 上 の 注 意	配 点		
[1]	チーム医療としてのリハビリテーションの過程を、症例紹介やリハビリテーション施設の見学等を取り入れて指導すること。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10		
[2]	1	ア, エ, オ	全部合っているものだけを正答とする。	8	20	
	2	相互に制約し合うことで、木は土の栄養を奪い、土は水を埋め、水は消火し、火は金物を溶かし、金物で草木を切るというものである。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	12		
[3]	1	ア, イ, ウ	全部合っているものだけを正答とする。	8	26	
	2	ア, オ	全部合っているものだけを正答とする。	8		
	3	下肢の弾力包帯と弾性ストッキング、腹帯などで下肢と腹部の圧迫を行う。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10		
[4]	1	小脳		8	34	
	2	現れる症状	聴覚過敏が起こる。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。		14
		仕組み	顔面神経の機能の麻痺により、耳小骨筋が麻痺すると、耳小骨筋の収縮が起こらず、アブミ骨底を前庭窓から引き離すことができないため、強い音に対して鼓膜への振動を弱めることができない。			
	3	多数の神経線維が並行して神経線維束を作っている場合、1本の神経線維が興奮しても、隣接する他の神経線維には興奮が起こらない。		順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。		各 4× 3
神経の直径その他の性状が一樣な場合は、興奮の大きさは減衰せずに一定の大きさで伝導する。						
生体外に摘出した神経線維の一部を刺激すると、そこで生じた興奮は軸索を両方向に伝導する。しかし、生体内では興奮は通常決まった一方向に伝導する。						

特別支援学校高等部理療科採点基準

2枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)		採 点 上 の 注 意	配 点		
5	1	大包		8	28	
	2	ア	9寸	各 4 × 3		
		イ	3寸			
		ウ	5寸			
3	ウ, オ	全部合っているものだけを正答とする。	8			
6	1	軽擦法	順序は問わない。 2つとも合っているものだけを正答とする。	8	38	
		揉捏法				
	2	指をそろえて少し窪ませた片手又は両手の手掌面で叩く手技。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8		
	3	擦過軽擦	順序は問わない。 2つとも合っているものだけを正答とする。	8		
カギ形軽擦						
4	・血圧計を用いて、施術前、施術中、施術後の血圧を測定し、比較する。 ・体温、呼吸、脈の状態を施術前、施術中、施術後で比較する。	1つ書かれていればよい。 問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。	14			
7	1	手で圧迫したときよりも、急に手を放した瞬間に強い疼痛が現れる徴候。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8	44	
	2	左右の膈兪、肝兪、脾兪	全部合っているものだけを正答とする。	8		
	3	内関	心包は精神を主り、絡穴は慢性症状の反応点である。ストレスが長年あるということで、慢性の症状ととらえるため、心包経の絡穴である内関が特効点となる。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。		各 7 × 2
		梁丘	郄穴は急性症状の反応点で、胃の痛みを急性症状ととらえるため、胃経の郄穴である梁丘が特効点となる。			
4	筋性防御やブルンベルグ徴候などの腹膜刺激症状がないことから、腹膜は除外できる。X線検査でニッシュがないことと内視鏡検査で異常所見がないことから胃潰瘍が除外できる。X線検査で陰影欠損がないこと、内視鏡検査で所見がないこと、血液腫瘍マーカーの値に異常がないことから胃癌が除外できる。したがって、この症例はストレスによる胃神経症と考えられるため、適応である。	問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。	14			